

プロジェクト報告書

団体名 NPO 法人越谷らるご 自立援助ホームゆらい

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

エクステリア工事

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

子供たちの生活環境を向上させるために、助成金によるホームのエクステリア工事を計画しました。自立援助ホームゆらいの各子供部屋にデッキやテラスもしくは手すりを設置し、洗濯物や布団を干せるように整備します。現状では、洗濯物や布団を干すスペースが十分ではありません。洗濯や布団など健康的な生活に必要な家事は子供が自立していくために伝えなければならない支援項目のひとつと考えています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

ゆらいの現状は、1階と2階にそれぞれ1ヶ所ずつ洗濯物干し場がありますが、いずれも狭く、また、各部屋ごとに干すスペースはありません。1階は職員と男性入居者が使用していますが、ホーム全体で使用するタオルなどと子供1人分の洗濯物で干し場はほぼいっぱいになります。ホーム全体として物干し場のスペースが不足しています。ホーム開設時には資金のゆとりがなく、今回の助成事業でスペースを確保したいと考えました。内容は、①2階の3部屋に、それぞれ、手すりや竿掛けを設置する②1階の庭に面している部屋の外側にウッドデッキを設置する③1階のもう1部屋には竿掛けを設置する、の3点です。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回の事業は、子供の生活環境の向上に直接結び付くりフォームであり、単純な建物の修理以上の意義があると考えます。各子ども部屋に洗濯物が干せるスペースが設けられたことにより、子どもたちがこれまで以上に責任をもって自分の洗濯物を管理することが期待できます。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

事故等のトラブルがなく事業を完了することができたことを関係者のみなさまに感謝いたします。家庭的支援を欠いた子どもたちにとって、「支援をしてくれる存在がある」という実感は、世の中や自分自身への肯定感を育みます。子どもたちに限らず、私たち職員にとっても、Shinjo プロジェクトのような支援の存在はとても励みになります。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし

39A ↘

↑
竿掛け(手前) 竿掛け(手前)
建物西面2階子供部屋

↑
竿掛け
建物西面1階子供部屋
ウオッシュ ↓

← 手刺

↑
竿掛付

建物東面 2階子供部屋